

学校だより

◇思いやりのある子ども ◇じょうぶな子ども
◇よく考える子ども ◇最後までやりぬく子ども

TEL : 0268-22-1904

FAX : 0268-22-2904



人権月間を振り返って



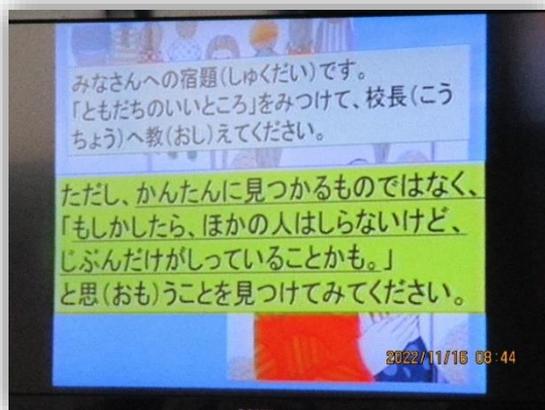
11月7日から12月2日まで、人権について考える月間でした。塩尻小では、毎年「人権の木に思いやりの実をたくさん実らせよう」という活動を全校で行います。今年も、廊下に貼りだした人権の木には、たくさんの実がたわわに実りました。友達からもらった温かな言葉や行動に対する感謝の気持ちや、自分が気づいた友達のすごい所などがびっしり書かれていて、読んでみると、心が温かくなってきました。

今年も、学級ごとに「人権標語」も作成しました。学級で話し合い、みんなで決めだしていった短い言葉の中に、クラスの一員としての願いや思いがしっかりと込められていました。

11月の校長講話では、くすのきしげのり著『ええところ』という絵本を紹介していただきました。主人公のあいちゃんは、背は低いし足は遅いしテストは100点取ったことないし、、、とコンプレックスをたくさん抱えています。そんなあいちゃんに、ある日友達のともちゃんが、と

っておきのいいところを見つけてくれたのです。主人公は心が温められ勇気が湧いてきました。

「こんどは、あなたがともだちのいいところを見つけ、校長先生に教えてくださいね」という宿題が出ました。ただし、校長先生はさらに付け加えました。「簡単に見つかるものではなく、他の人は知らないけど、自分だけが知っていることかとも思うこと」です。とっておきの友達のよさを、簡単に見つけることは難しいからこそ、一生懸命自分のことを思いながら、じっくり考えて友達が見つけてくれた「よさ」は一生の宝物になるかもしれませんね。



<学級ごとに決めだし取り組んできた人権目標>

- 1年：おともだちのことをかんがえてゆずりあおう
- 2年：なかまにいれてあそぶ。こまっている人をたすける。
- 3年：まわりを見て、「いっしょにやろうよ」「だいじょうぶ?」「ありがとう」
- 4年：みんなで協力して助け合うクラス。差別なく思い合って助け合う。
- 5年：差別のない仲の良いクラス
- 6年：相手のことを考える。みんなちがってみんないい
- たんぼぼ：友達にやさしくしよう。「ありがとう。いいよ。どうぞ。」をたくさん言おう。
- なすな：相手の気持ちを考える。きれいな言葉遣いやよい態度を心がける。
- つくし：「ふわふわことば」（気持ちが温くなる言葉のこと）をたくさん使おう。

